

NIE実践指定校の認定書を受け取る南中山小の
玉木校長(中央)＝19日、福井新聞社・プレス21(柿
木孝介撮影)



各校本格活動スタート

県教育研究会総会 認定書を交付

NIEを実践する県内小中学校の教員でつくる「県NIE教育研究会」の本年度総会と全体会が19日、福井新聞社で行われた。本年度の実践指定校に認定書が渡され、各校での本格的な活動がスタートした。

総会には約20人が出席した。本年度の会長に選ばれた玉木茂明・南中山小校長は「福井の実践は全国トップレベル。これまでの積み重ねを生かし、NIE発展につなげたい」とあいさつ。実践校を代表し、県NIE推進協の松友会長から認定書を受け取った。

全体会では、元実践校の教員らを変え、小中学校別に授業の進め方などについて意見を交換した。NIEの利点について実践経験のある教員は「子どもの伝え合う力が高まる」「記事の書き写しを日常的に行うことで生徒に落ち着いた気が出てくる」と説明。家族と一緒に新聞を読み、話し合

つての感想を募る「いっしょに読もう！新聞コンクール」や、授業参観でのNIE実践を通して、保護者の理解や協力が得られるとのアドバイスもあった。(山口晶永)